

# 2019年新春講演会

## 講演 I 移動局の強靱化の取り組みと折り返し通信設備のデモンストレーション

講師 全国自動車無線連合会専務理事 岡崎 邦春

昨年、沖縄においても大型台風による停電等の災害が発生し、タクシー無線が使えなくなった教訓からタクシー無線などの業務用移動無線の災害対策と強靱化を図るため、講演会場に停電災害現場を再現しての通信デモンストレーションを行った。

こうした取り組みは、8年前の東日本大震災後から、全国自動車無線連合会が「タクシー無線の災害対策マニュアル」を発行し、全国各地でタクシー事業者等に周知講演を行ったもの。沖縄では、5年前にも講演会が行われ、今回は、無線基地局の強靱化対策として、電源供給のとれる車両無線移動局による基地局の通信折り返し操作により移動局相互間の通信を確保する通信デモンストレーションを実演した。

### 【平常時の通信】

タクシー無線の平常時の通信は、タクシー会社の配車センターから基地局（おきなわ TOWER）を介して車両の移動局と通信が行われている。なお、平常時は、通信の輻輳を避けるため移動局相互間の通信は行われていない。

### 【災害発生：専用線の切断・停電】

災害が発生し、配車センターと基地局間を結ぶ専用線（有線）が切れたり、配車センターの停電などで、平常時（配車センターと各移動局間）の通信ができなくなったことを確認し、



【折返し通信機能の遠隔切替】

災害時に基地局の折返し通信機能を配車センターに配備した移動局で遠隔操作で切替、その移動局が配車センターを代行する。

### 【切替後の通信機能を確認する】

全ての移動局相互間の通信が可能になり、被災した配車センターに配備した移動局によって通信統制し、災害発生時の安全確認、災害情報の伝達、救難復旧活動支援などのための移動局相互間通信を確保する。

以上の通信は、基地局（おきなわ TOWER）や講演会会場や那覇市内に配備した実機（実験局）を使って通信体験する講演が行われた。

講演は、最後に、こうした基地局の強靱化対策や災害対策マニュアルの一読が呼びかけられた。

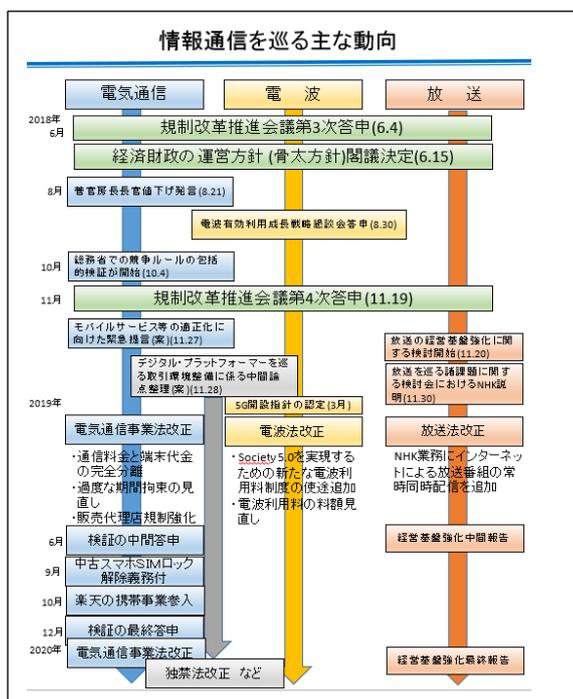
## 講演Ⅱ 情報通信の最近の動向

講師 総務省沖縄総合通信事務所長 久恒 達宏 様

情報通信分野で今後予定される動向について、現在総務省で開催されている検討会での審議状況等を踏まえて、説明された。

【NICTによるNOTICE】 家庭や会社で使用されているウェブカメラやルーターのIoT機器が、セキュリティ対策が不十分なために、覗き見に悪用されたり、サーバー攻撃の発信源となることが報告されている。このため、総務省はNICTに5年の期間に限って、予想されるIDとパスワードをIoT機器に入力しアクセスを試みさせ、セキュリティ対策が不十分な機器を洗い出す調査を2月20日から開始した。セキュリティの強化のため、パスワードの設定を変更するなどの対策が呼び掛けられた。

【改正電波法(案)】 2月12日に法案は国会に提出され、審議開始を待つ状況になった。「電波有効利用成長戦略懇談会報告書」における電波の経済的価値を踏まえた割り当て手法の導入の提言等に基づき、所要の見直しを行うもの。電波の有効利用を促進するため、電波利用料の料額の改定、携帯電話基地局に開設計画の認定に関する制度を整備が進められる。



【5G元年】 今年9月に開幕するラグビーワールドカップに合わせる形で5Gサービスのプレサービスが開始出来る様に準備が進められている。1月24日から携帯電話基地局の開設計画の認定申請の受付が開始され、4月10日を目処に周波数が事業者に対して割り当てられる見通し。超高速、超低遅延、多数同時接続の特徴を持つサービスの登場により、生活様式に革命が起こる可能性が大いにあることが説明される。

【モバイルサービスの適正化】 ①通信料金と端末代金の完全分離、②期間拘束などの行き過ぎた囲い込みの是正、③販売代理店に届出制を導入することで、代理店の不適切な業務の是正

是正を図ることを旨とする電気通信事業法の改正案が今国会に提出出来る様に準備が進められている。

【NHK番組のインターネットを利用した常時同時配信】 NHKによるインターネット活用業務の現在の位置付けの現状と、常時同時配信による位置づけの相違点を説明。